

旬のレシピ

みたらしたれの作り方

材料

水200cc、グラニュー糖150g、しょうゆ50cc、片栗粉30g+水100cc

作り方

- ①鍋に水200ccとグラニュー糖150gを入れてかき混ぜ、沸騰させる。
- ②沸騰したら弱火にし、片栗粉30gを水100ccで溶いて回し入れる。
- ③②がなじんだら火を強め、滑らかになるようによく混ぜる。
- ④③が透明になったら火を止め、しょうゆを回し入れて軽く混ぜ、全体が滑らかになれば出来上がり。



簡単手作り・みたらしたんご

材料(だんご40玉分)

だんご生地  
上新粉 …………… 200g  
片栗粉 …………… 30g  
湯 …………… 200cc

打ち粉  
上新粉または片栗粉  
…………… 適量

※みたらしたれの作り方は  
右上のコラム参照

作り方

- 1.ジップ付き袋またはビニール袋に上新粉200g、片栗粉30gを入れ、よく混ぜ合わせる。
- 2.(1)に湯を加え、粉がまとまるよう手でもみ(やけどに注意)、袋ごとテーブルの上でこねる(約5分)。
- 3.(2)の生地を打ち粉を振ったまな板の上で棒状に伸ばしたら(直径2.5cm)、1つ12g程度の大きさにちぎり、丸める。
- 4.湯(分量外)を沸騰させた鍋に(3)のだんごを投入し、ゆでる。だんごが浮き上がってからさらに3分程度ゆでる。
- 5.(4)をボウルにためた水(分量外)で2~3分冷ます。水を切り、バットなどに取り出し、うちわであおいで表面の水分を取り、串に刺す。たれにからめて完成。

**Attention, please!!**  
[アテンション・プリーズ]  
和菓子で一番好きなものは何?  
ご自分で作る和スイーツはありますか?  
p.9のパズルの答えと一緒に送って下さいね。

子どもの貧困はおとなの責任…

# 子どもの笑顔のために

子どもの貧困は連鎖する

- 栄養不足
- 学習環境の悪化
- 進学・就職に不利

先進国の子どもの貧困は  
周囲が気づきにくい

- 子ども自身が窮状を訴えられない
- 年齢が上がると貧困を隠す

7人に1人が  
貧困!?



コロナ禍での日本の状況

- 失業者の増加(特に、非正規雇用者)
- 自殺者の増加(特に、女性)

私たちに  
できること…



2019年国民生活基礎調査(厚生労働省)によると、依然として子どもの7人に1人(約260万人)が貧困状態という報告がありました。中でも日本の一人親家庭の貧困率は、OECD加盟国の中で最低です。

日本を含め先進国の子どもの貧困は、飢餓といった「絶対的貧困」ではなく、外からは見えづらい「相対的貧困」で、周囲が気づかないという現状があります。子どもは貧困を訴えるすべを知らず、年齢が上がると隠そうとしがちです。食生活や学習環境なども十分でないため、進学、就職でも不利になり、それが次世代にも影響して貧困は連鎖していきます。

そして、新型コロナウイルス感染拡大のため、世界規模で貧困が過去20年で初めて増加するという見通しが発表されています(世界銀行)。日本でも失業者や自殺者が増加しているという報道があり、今後子どもの貧困率の悪化が懸念されます。

一方、ここ数年、子どもの貧困対策として子ども食堂やフードバンクなどの活動も全国的に広まり、子どもたちの居場所づくり、学習支援などの動きも徐々に出てきました。

東都生協でも東都生協「未来につなぐ募金」を活用して支援につなげています。今号では支援団体の活動内容などを紹介します。一緒に食事をしてコミュニケーションを大切にしてきた支援団体は、コロナ禍で生活が一変した今年度、どのような対応をしているのかを知り、そして私たちは日頃から何ができるのか、考えてみたいと思います。

もう一品 おすすめ  
メニュー  
抹茶のロールケーキ

材料(天板<25cm×28cm>1枚分)

さつまいも …………… 200g  
抹茶 …………… 適量  
A: バター20g、砂糖大さじ3、生クリーム150ml  
B: ゆで小豆150g、生クリーム 50ml  
C: 卵2個、砂糖50g  
D: 小麦粉45g、抹茶5g  
E: バター15g、牛乳大さじ1

作り方

1. さつまいもは柔らかくゆで、皮をむいてつぶし、熱いうちにAのバター・砂糖を加え、冷めたら生クリームを加えて混ぜ、いもクリームを作る。
  2. Bを軽く混ぜ、小豆クリームを作る。
  3. Cをしっかりと泡立て、ふっつたDとさっくり混ぜ合わせる。さらに電子レンジで溶かしたEを加えて混ぜ、オープンシートを敷いた天板に流し、170℃のオーブンで8~10分焼く。
  4. (3)が焼き上がり粗熱を取ったら、4~5cmおきに横に浅く切れ込みを入れ、(2)を塗ってロール状に巻き、巻き終わりを下にする。
  5. (1)を(4)の全体に塗り、抹茶をふる。
- ※卵を泡立てる場合は電動ミキサーがベター。ない場合は卵白をしっかりと泡立ててから卵黄を加えて。



大福豆知識

大福は、腹持ちが良いからか「腹太餅(はらぶともち)」と呼ばれていたという説もあります。もともとは家庭で作られていた物で、店で売られるようになったのは江戸時代になってから。最近では、硬くならず日持ちの良い大福もありますが、本来は時間がたつと硬くなるため、昔は火鉢で温めて柔らかくして食べていました。焼くと香ばしくておいしいので、昭和に入っても大福は焼いて食べるのが当たり前だったのだとか。

(参考: 全国和菓子協会 HP)

# 活動報告 フードバンク



フードバンクとは、品質に問題がないにもかかわらず、包装の傷みなどで市場に流通できない食品を企業などから寄付を受け、生活困窮者などに配給する活動や団体のことです。

## NPOフードバンク八王子えがお 三浦すみえさん

「食で支えよう ひと 地域 未来」をモットーに、八王子市と支援提携協定を結び、八王子市全域で活動しています。  
今、新型コロナウイルス感染拡大のために仕事ができなくなったり、シフトが減らされたりして収入が激減している方々が増え、支援要請が以前の3倍にもなっています。労働者の4割を占めるといわれる非正規労働の方々に、しわ寄せがいき、この状況は深刻さを増しています。その中で、夏と冬に実施している子育て世帯

への特別支援「えがお子ども応援プロジェクト」では、この冬も107世帯に食料などを発送できました。  
子どもたちの食べものなので、できるだけ安全・安心なものを届けたいと考えています。東都生協「未来につなぐ募金」を活用してもらい、お餅やのりなども入れました。募金への協力、本当にありがとうございました。



## フードバンク調布 安保久恵さん

「一人一人が小さな力を寄せ合えば社会はちょっとずつ良くなるはず」の思いの中から生まれた小さな市民団体です。調布市社会福祉協議会と連携し、2017年12月から活動しています。  
昨年、緊急事態宣言が発令された当初は、活動を自粛しながらも普段通りの活動量でしたが、コロナ禍の長期化と共に生活に困窮する家庭が増え、食料支援の要請も増加していききました。  
一方で、嬉しいことに、地域

の方や企業からの食品寄贈も増えてきました。皆さまの温かいお気持ちを支えに、必要な方へ早くお届けできるように感染対策を十分にしつつ、活動を継続しています。  
夏休みなど給食がない長期の休みに一人親世帯へ食料支援をするプロジェクトも、コロナ禍で直接の手渡しから宅配へと変更する対応も迫られました。  
食料支援を必要としているご家庭は増え続けています。東都生協「未来につなぐ募金」の食品での支援は、子どもたちに必要な栄養価の高い食品を選べるのがうれしいです。ありがとうございます。



★東都生協「未来につなぐ募金」は通年受け付けています。注文番号 365920 1口200円



**まとめ**  
未来を担う子どもたちが笑顔でいられることは、誰もが望むことです。しかし、「子どもの貧困」問題は、新型コロナウイルスの影響も加わり、今後さらに深刻な状況になると予測されます。  
東都生協「未来につなぐ募金」の取り組みは3年目になりました。今年度の登録は27団体。コロナ禍で活動が制限される中、感染予防を徹底しながら23団体が活動しました。さらに、今年度はこの通常の助成以外に、コロナ禍で増え続けている食料支援などの要請に応じて活動しているフードバンク6団体への臨時支援(上限30万円の東都生協の希望商品を提供)も行いました。  
組合員の皆さんからの募金を今年度も有効に活用できましたが、子どもの笑顔のためにできる工夫はいろいろあるはずですよ。まずは、現状を知ること一つ。  
「7人に1人の子どもが貧困」という数字だけでなく、目の前の困っている、立場の弱い子どもたちに気持ちを寄せてみませんか。「自分ができるのか」と。

# 活動報告 子ども食堂

## 「ぬくぬくの家」井山順子さん (世田谷・三鷹市)

私たちの活動が、社協だよりやホームページ、インスタグラムなどで地域に広く知られるようになってきました。  
今年度は、集まってくるのができなくなりましたが、「コロナだからできない」のではなく、「コロナでもできる」ことを見つけていこうと思って活動しています。そんな中で開催したヨーヨー釣り大会では、子どもたちはビシビシになりながらも「一番楽しかった」と、その笑顔が印象的でした。いつも楽しみにして参加してくれるハンディキャップのある高校1年生の子が、うれしいことにお手伝いを買って出てくれて頼もしい戦力になっています。  
子育てに疲れている、あるいは生活に困ってはいないが子どもが一人で食事をするなど、どの家庭もそれぞれなんらかの事情を抱えています。困っている人たちが楽しく集える場所として活動できたらと思います。

これからも地域の中での笑顔を糧に活動していきます。



## 「ゆい」斎藤 緑さん (中野区)

ある日、商店会のごみ拾いのボランティアをしていたら、フラフラとごみ箱をのぞく少年を見掛けました。これがきっかけで、地域の子もたちに食事の提供をしたいと子ども食堂を始めました。  
子ども無料、おとな300円以上の設定で活動していますが、「本当に困っている人に届いているのか」と自問し続けています。一方で、積極的にサポート料金を利用箱に入れてくれる利用者や、寄付をしてくださる保護者に接すると力が湧いてきます。困窮はしていないけれど、子ども食堂を利用することでこの活動を応援しようという人たちの思いも感じています。  
コロナ禍で一緒に会食できない今、ますます各家庭の事情が見えにくくなっています。この状況はしばらく続き、保護者の生活力によって格差が広がっていくと思います。  
でも、子どもたちの力を信じて応援していきたいと思っています。そのために、良い材料を使って、丁寧に栄養ある食事を提供していきます。



# 活動報告 無料学習塾

## 「あおぞら無料塾」香取三恵子さん (練馬区)

小学生を対象にした塾です。宿題を中心に国語・算数の勉強以外に、「ここが分からない」と言う子どもたちにも対応しています。  
退職教員が指導していますが、教える側も「子どもたちと学習するのがうれしい」「分からないところを工夫して教えるのも大好き」との思いで活動しています。個性的なお子さんも大歓迎。病院のソーシャルワーカーも参加しているので、いろいろな相談にも乗っています。  
コロナ禍では、消毒の徹底や密にならないような座席配置などの感染予防策を取りつつ、指導側はマスクをし、声の大きさにも気を付けています。  
常に、塾での時間ができるだけ明るく楽しいものになるように、勉強だけでなくゲームやけん玉、なわ跳びなどの時間も取って過ごしています。  
これからも、楽しく学習できるように、子どもたちが仲良くなれるように活動していきます。見学も大歓迎です。



## 「無料学習塾 日野すみれ塾」仁藤夏子さん (日野市)

小学4年生から中学3年生までを対象に、団地の集会所で毎月2回(木曜日)開催しています。また、毎週日曜日は受験生対象に勉強をしています。コロナ禍ではオンライン授業もしており、毎日午後8時から参加可能です。講師は登録制で、現在、大学生・主婦・社会人など21人が登録しています。活動内容は、学習支援だけでなく、生活力アップや社会的視野を広げるために合宿や遠足なども行っています。  
2020年は緊急事態宣言による学校休校期間中の対応や、さまざまな事情を抱えた子どもたちのメンタルケアもしながら活動を続けました。  
夏に実施した中学生合宿では、延期していた卒業式を行い、高校へ進学した先輩の話や進路について考える機会が持てました。  
これからも子どもたちのために、できることをしていきたいと思っています。

